

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成16年10月28日(2004.10.28)

【公表番号】特表2000-509095(P2000-509095A)

【公表日】平成12年7月18日(2000.7.18)

【出願番号】特願平9-538848

【国際特許分類第7版】

C 0 8 F 10/14

C 0 8 F 2/01

C 0 8 F 2/00

C 0 8 F 4/642

【F I】

C 0 8 F 10/14

C 0 8 F 2/00 H

C 0 8 F 2/00 Z

C 0 8 F 4/642

【手続補正書】

【提出日】平成15年11月20日(2003.11.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手続補正書

適

平成15年11月20日

特許庁長官殿

## 1. 事件の表示

平成09年特許願第538848号

## 2. 補正をする者

氏名（名称） ミネソタ・マイニング・アンド・  
マニュファクチャリング・カンパニー

## 3. 代理人

住所 〒540-0001  
大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル  
青山特許事務所  
電話 06-6949-1261 FAX 06-6949-0361

氏名 弁理士 (6214) 青山 蔦



## 4. 補正対象書類名 請求の範囲

## 5. 補正対象項目名 請求の範囲

6. 補正の内容  
別紙の通り方式  
審査 佐藤

[別紙]

## 請求の範囲

1. 目標固有粘度を有するポリ ( $\alpha$ -オレフィン) を連続的に生成するための方法であって、

a) 1つ以上のセクションを含み、前記各セクションの温度が温度プロファイルを得られるように独立に制御可能な反応器において、

1) 温度  $20 \sim 100^{\circ}\text{C}$ 、圧力  $1000 \text{ kPa}$  以下で液状であるかまたは液状にすることが可能な少なくとも1種の  $\alpha$ -オレフィンモノマーと、

2) オレフィンモノマーの重合に有用な1種以上の成分を含む触媒系と、

3) 前記少なくとも1種のモノマーの重合生成物と、

を含む反応混合物が得られるように、前記少なくとも1種の  $\alpha$ -オレフィンモノマーと前記触媒系とを混合する工程と、

b) 前記反応混合物を本質的に栓流的に前記反応器に通しながら前記少なくとも1種のモノマーの重合を継続させる工程と、を含み、

前記重合が水素制御供給材料なしで起こり、前記ポリ ( $\alpha$ -オレフィン) の固有粘度が前記反応器の5滞留時間以内に前記目標固有粘度の  $0.2 \text{ dL/g}$  以内に集中するように維持され、

c) 前記重合工程の間、前記目標固有粘度が変化するように

1) 前記温度プロファイル、または

2) 前記触媒系の前記1種以上の成分の

i) アイデンティティ、または

ii) 量、

のうち少なくとも1つを変化させる工程を任意に含み、前記ポリ ( $\alpha$ -オレフィン) の固有粘度が、前記目標固有粘度の変更時から測定しても5滞留時間以内に前記目標固有粘度の  $0.2 \text{ dL/g}$  以内に集中するように維持される、

ポリ ( $\alpha$ -オレフィン) を連続的に生成するための方法。

2. 前記反応器が攪拌チューブラ反応器を含む請求項1に記載の方法。

3. 前記少なくとも1種の $\alpha$ -オレフィンモノマーが、C<sub>6</sub>～C<sub>10</sub>の直鎖 $\alpha$ -オレフィンであり、かつ前記少なくとも1種のモノマーが、ポリエン、気体状 $\alpha$ -オレフィンまたはC<sub>24</sub>～C<sub>40</sub>の $\alpha$ -オレフィンをさらに含む請求項1に記載の方法。